2027年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上場会社名　株式会社ゴルフ・ドゥ　　上場取引所　名
コード番号　3032　URL https://www.golfdo.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 佐久間　功
問合せ先責任者　(役職名) 執行役員 経営管理本部長　(氏名) 並木　健二　TEL 048- 851- 3111

半期報告書提出予定日　2026年11月16日
配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：　有
決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2026年4月1日～2026年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	3,187	3.8	69	△30.7	72	△25.9	33	△47.0
2026年3月期中間期	3,072	5.7	99	―	98	―	63	―

(注) 包括利益　2027年3月期中間期　40百万円　(△37.4%)　2026年3月期中間期　64百万円　(―%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	6.97	6.56
2026年3月期中間期	12.74	12.21

(注) 当社は、2025年11月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、1株当たり中間純利益及び潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	4,039	905	21.1
2026年3月期	3,882	878	21.3

(参考) 自己資本　2027年3月期中間期　851百万円　2026年3月期　825百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	―	0.00	―	3.00	3.00
2027年3月期	―	0.00			
2027年3月期(予想)			―	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年 3月期の連結業績予想(2026年 4月 1日～2027年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	13.2	160	61.5	130	43.9	87	29.2	17.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 ： 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期中間期	5,211,284 株	2026年3月期	5,211,284 株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	348,400 株	2026年3月期	348,400 株
③ 期中平均株式数（中間期）	2027年3月期中間期	4,862,884 株	2026年3月期中間期	5,012,884 株

（注）当社は、2025年11月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため発行済株式数（普通株式）については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して記載しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1．経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9
３．補足情報 …… 10
売上高前年対比等 …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、経済の緩やかな回復や株価が上昇する一方で、円安や物価高によるコストの増加が重くのしかかるとともに、長期金利や政策金利の上昇が進み、企業収益や家計を圧迫しております。また、値上げが日常的になったことで、企業は価格転嫁が進め易くなったものの、消費者の値上げ疲れにより、客単価上昇と客数減少が対になるケースが増えているものと推測されます。海外においては、米国を中心にＡＩ、半導体、データセンター関連需要が経済を牽引するものの、中国の内需低迷、中東情勢、ウクライナ情勢に加えて気候変動などの不確実性による影響の拡大が懸念されます。

リユース市場においては、物価高による節約志向がリユース品需要を後押しし続けており、循環経済への取り組みと相まって異業種からの参入がより一層と増加している感があります。なお、リユース市場は金額規模の拡大が進んでおりますが、環境省が公表した「リユース等の促進に関するロードマップ」において、「消費者におけるリユースの実施率」として2030年までの目標を「国民の半数」を掲げていることもあり、利用者の増加が今後の課題であるといった指摘などを目にする機会が増えております。

ゴルフ用品市場においては、夏場の天候が東日本と西日本で大きく異なったことから、ゴルフ環境も比例して大きく異なったと推測されます。また、原材料費の高騰が商品価格にも依然と大きく影響しており、市場は新発売や値下げといったアクションに由来する商品への依存度が一層高まっているものと推測されます。なお、株式会社矢野経済研究所「ＹＰＳゴルフデータ」によりますと、2026年７月～９月の新品クラブ及びボール等用品類のカテゴリー合計前年同月比（販売数量ベース・金額ベース）は、それぞれ７月98.1%・105.3%、８月95.4%・101.1%、９月88.3%・93.4%となっております。単価上昇による販売金額の下支えが続いているようです。

ゴルフ場及び練習場においては、総務省統計局 サービス産業動態統計調査「参考表 事業活動の産業（細分類）別売上（収入）金額」（ https://www.stat.go.jp/data/mbss/index.html ）を基に算出した2026年７月、８月のゴルフ場・練習場の売上前年同月比は、それぞれ７月99.6%・99.0%、８月98.8%・100.8%*となりました。

*数値は速報からの算出で、９月分は公表前のため記載しておりません。

このような経営環境のなか当社グループにおいては、夏が例年と比べて凌ぎ易かった関東地方中心の「ゴルフドゥ！」直営店と「ゴルフドゥ！オンラインショップ」をはじめとするＥＣ系３サイトが牽引役となりました。また、ＥＣ系販売では７月から「Ａｍａｚｏｎ」への出店を開始し、単なる売上高の拡大に留まらず、「Ａｍａｚｏｎ」経済圏における「ゴルフドゥ！」の認知拡大と新規顧客獲得にも努めております。なお、現在はシステム面の検証を並行して行っていることから、出品は直営店限定となりますが、2027年１月に予定するＦＣ店の出品で急速に拡大を図れるよう準備を進めております。無人インドアゴルフ練習場「ＤＯＤＯ ＧＯＬＦ」においては、会員獲得と付加価値向上のためのシステム増強に注力しつつ、収益化に向けて努めております。なお、10月24日には６店舗となるＤＯＤＯ ＧＯＬＦ戸田下前店をオープンいたしました。費用面においては、前中間連結会計期間と比較して大きく上回っているものとして、人手不足（社員）に対するパートタイマーの採用増加や時給改定による雑給、クレジットカード及びＥＣモールに関する手数料増加による支払手数料、「ＤＯＤＯ ＧＯＬＦ」の家賃地代及び設備に関する減価償却費があげられます。

直営事業においては、「ゴルフドゥ！」の売上高におけるＥＣ系の販売比率が上昇傾向にあり、店頭販売も前年同月を常に上回って推移していることから、店舗売上高及び粗利益は、４月１日付で直営店となった２店舗を除いても各月で過去最高の状況が続いております。また、買取りが前中間連結会計期間に対して点数、金額共に二桁増となっており、在庫の拡充が進む中古品（クラブ、シャフト）は好調が続いております。なお、当中間連結会計期間の店舗売上高前年増減率は、全店ベース13.8%増、既存店ベース9.1%増となりました。

フランチャイズ事業においては、「ゴルフドゥ！」店舗が西日本に多く、関東地方が中心の直営店と比べて店頭の集客に苦心した店舗が目立ちました。一方でＥＣ系販売は2026年１月より出品を開始した「メルカリＳｈｏｐｓ」の純増効果もあり、売上高は毎月前年同月を上回って推移しており、堅調なロイヤリティ収入につながっております。なお、当中間連結会計期間の店舗売上高前年増減率は、全店ベース6.6%減、既存店ベース2.2%減となりました。

当中間連結会計期間における「ゴルフドゥ！」のオープンはありませんでしたが、2026年４月１日付で２店舗がフランチャイズ店から直営店に転換したことから、2026年９月30日現在の「ゴルフドゥ！」は、直営26店舗、フランチャイズ42店舗で合計68店舗となり、チェーン合計の売上高前年増減率は、全店ベース3.4%増、既存店ベース3.5%増となりました。

営業販売事業においては、為替市場における円安により、米国子会社の日本への輸出は限定的かつ低単価品中心の状況が続いており、米国内への卸販売、店頭販売及びＥＣ系販売で補っております。また、日本から仕入れた中古クラブや用品類の販売も継続しており、展開の拡大を進めております。

以上の結果、当中間連結会計期間の経営成績は売上高31億87百万円（前年同期比3.8％増）、営業利益69百万円（前年同期比30.7％減）、経常利益72百万円（前年同期比25.9％減）、親会社株主に帰属する中間純利益33百万円（前年同期比47.0％減）となりました。

当中間連結会計期間におけるセグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

（直営事業）

当中間連結会計期間における直営事業の売上高は26億36百万円（前年同期比11.6％増）、セグメント利益は２億73百万円（前年同期比6.1％増）となりました。

（フランチャイズ事業）

当中間連結会計期間におけるフランチャイズ事業の売上高は２億37百万円（前年同期比9.8％減）、セグメント利益は49百万円（前年同期比14.2％増）となりました。

（営業販売事業）

当中間連結会計期間における営業販売事業の売上高は３億44百万円（前年同期比37.2％減）、セグメント損失は16百万円（前年同期セグメント利益は５百万円）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

（資産）

当中間連結会計期間末における流動資産は30億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億27百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が１億45百万円増加、売掛金が27百万円減少したことによるものであります。固定資産は９億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ29百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が56百万円増加、無形固定資産が21百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、40億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億57百万円増加いたしました。

（負債）

当中間連結会計期間末における流動負債は23億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億７百万円増加いたしました。これは主に買掛金が１億22百万円減少、短期借入金が２億70百万円増加したことによるものであります。固定負債は７億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ22百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が11百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、31億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億29百万円増加いたしました。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は９億５百万円となり、前連結会計年度末に比べ27百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が19百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は21.1％（前連結会計年度末は21.3％）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の連結業績予想につきましては、2026年８月13日付で公表いたしました内容（詳細は同日付公表の「通期連結業績予想および配当予想の修正ならびに株主優待制度の変更に関するお知らせ」をご参照ください。）に変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	687,111	832,879
売掛金	352,649	324,844
商品	1,828,717	1,843,667
短期貸付金	1,200	1,200
未収還付法人税等	367	401
その他	63,117	58,423
貸倒引当金	△5,252	△6,400
流動資産合計	2,927,909	3,055,016
固定資産		
有形固定資産	373,482	430,294
無形固定資産	277,341	255,776
投資その他の資産		
投資有価証券	64,704	78,432
長期貸付金	34,483	33,983
敷金及び保証金	180,748	183,791
繰延税金資産	46,665	27,749
その他	13,380	10,174
貸倒引当金	△36,701	△36,151
投資その他の資産合計	303,281	297,979
固定資産合計	954,104	984,050
資産合計	3,882,014	4,039,066
負債の部		
流動負債		
買掛金	419,861	297,427
短期借入金	1,100,000	1,370,000
１年内返済予定の長期借入金	266,660	248,090
未払法人税等	38,808	35,617
賞与引当金	53,020	35,290
役員賞与引当金	－	4,495
ポイント引当金	18,507	17,917
株主優待引当金	50,558	44,503
その他	316,022	317,120
流動負債合計	2,263,439	2,370,463
固定負債		
長期借入金	441,793	453,203
退職給付に係る負債	170,652	179,579
資産除去債務	89,412	93,077
その他	37,872	36,800
固定負債合計	739,730	762,659
負債合計	3,003,169	3,133,123

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	515,838	515,838
資本剰余金	169,240	169,240
利益剰余金	136,498	155,781
自己株式	△128,808	△128,808
株主資本合計	692,769	712,052
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,037	43,038
為替換算調整勘定	99,016	96,470
その他の包括利益累計額合計	133,053	139,509
新株予約権	53,021	54,382
純資産合計	878,844	905,943
負債純資産合計	3,882,014	4,039,066

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	3,072,094	3,187,696
売上原価	1,870,967	1,901,306
売上総利益	1,201,127	1,286,390
販売費及び一般管理費	1,101,451	1,217,330
営業利益	99,675	69,059
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,091	4,009
受取手数料	2,499	1,497
為替差益	205	－
助成金収入	－	12,324
その他	5,701	2,558
営業外収益合計	10,498	20,390
営業外費用		
支払利息	11,082	15,502
為替差損	－	185
その他	685	819
営業外費用合計	11,767	16,507
経常利益	98,405	72,943
税金等調整前中間純利益	98,405	72,943
法人税、住民税及び事業税	27,176	24,947
法人税等調整額	7,347	14,124
法人税等合計	34,524	39,072
中間純利益	63,881	33,871
親会社株主に帰属する中間純利益	63,881	33,871

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	63,881	33,871
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,007	9,001
為替換算調整勘定	△444	△2,545
その他の包括利益合計	563	6,455
中間包括利益	64,445	40,327
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	64,445	40,327
非支配株主に係る中間包括利益	―	―

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	98,405	72,943
減価償却費	64,422	79,143
のれん償却額	2,683	－
長期前払費用償却額	725	750
株式報酬費用	5,334	1,360
貸倒引当金の増減額（△は減少）	－	597
賞与引当金の増減額（△は減少）	2,567	△17,680
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	－	4,495
ポイント引当金の増減額（△は減少）	△13,506	△589
株主優待引当金の増減額（△は減少）	1,307	△6,055
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△15,247	8,927
受取利息及び受取配当金	△2,091	△4,009
支払利息	11,082	15,502
売上債権の増減額（△は増加）	39,837	27,163
棚卸資産の増減額（△は増加）	△33,131	△16,480
仕入債務の増減額（△は減少）	△105,386	△121,297
未払金の増減額（△は減少）	△2,372	2,702
未払費用の増減額（△は減少）	△490	2,998
未払消費税等の増減額（△は減少）	18,706	△2,063
その他	50,446	11,371
小計	123,292	59,779
利息及び配当金の受取額	2,091	4,009
利息の支払額	△10,900	△15,947
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△36,255	△38,102
営業活動によるキャッシュ・フロー	78,228	9,738
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△106,085	△89,199
無形固定資産の取得による支出	△20,008	△21,359
貸付金の回収による収入	－	500
敷金及び保証金の回収による収入	9,999	－
敷金及び保証金の差入による支出	△11,659	△3,064
建設協力金の回収による収入	2,413	2,461
投資活動によるキャッシュ・フロー	△125,340	△110,661
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	50,000	270,000
長期借入れによる収入	－	150,000
長期借入金の返済による支出	△133,320	△157,160
配当金の支払額	△12,545	△14,515
その他	1,374	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	△94,490	248,324
現金及び現金同等物に係る換算差額	△229	△1,633
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△141,832	145,768
現金及び現金同等物の期首残高	891,717	687,111
現金及び現金同等物の中間期末残高	749,885	832,879

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自 2025年４月１日　至 2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
	直営	フランチャイズ	営業販売	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,361,915	254,707	453,655	3,070,279	1,814	3,072,094	－	3,072,094
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	8,795	94,725	103,521	－	103,521	△103,521	－
計	2,361,915	263,503	548,381	3,173,800	1,814	3,175,615	△103,521	3,072,094
セグメント利益又は損失（△）	257,699	43,077	5,161	305,938	△16,949	288,989	△189,313	99,675

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、無人インドアゴルフ練習場事業を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

３．セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自 2026年４月１日　至 2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
	直営	フランチャイズ	営業販売	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,636,982	237,804	299,095	3,173,882	13,814	3,187,696	－	3,187,696
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	45,221	45,221	－	45,221	△45,221	－
計	2,636,982	237,804	344,316	3,219,103	13,814	3,232,918	△45,221	3,187,696
セグメント利益又は損失（△）	273,315	49,211	△16,427	306,098	△31,717	274,381	△205,321	69,059

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、無人インドアゴルフ練習場事業を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

３．セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３．補足情報

売上高前年対比等

当中間連結会計期間における「ゴルフドゥ！」店舗売上高前年対比は、以下のとおりであります。

	2026年７月	2026年８月	2026年９月	第２四半期（７月～９月）	中間期（４月～９月）
ゴルフドゥ！全店	103.3%	101.1%	105.7%	103.3%	103.4%
ゴルフドゥ！既存店	103.3%	100.9%	105.5%	103.2%	103.5%
同　直営店 全店	114.5%	113.6%	115.8%	114.6%	113.8%
同　直営店 既存店	110.7%	108.8%	110.6%	110.0%	109.1%
同　ＦＣ店 全店	92.2%	88.9%	95.6%	92.2%	93.4%
同　ＦＣ店 既存店	96.2%	92.9%	100.2%	96.3%	97.8%

（注）2026年４月１日付で、当社子会社が運営していた店舗を含む２店舗のＦＣ店が直営店に転換いたしました。

当中間連結会計期間におけるＥＣ系の売上高前年対比、セッション数前年対比、会員数（合計）、会員数前年増加率は、以下のとおりであります。

	2026年７月	2026年８月	2026年９月	第２四半期（７月～９月）	中間期（４月～９月）
売上高前年対比	107.3%	119.5%	131.6%	119.0%	115.9%
セッション数前年対比	86.7%	87.1%	88.6%	87.5%	92.7%
会員数（合計）					506千人
会員数前年増加率					7.1%

（注）１．売上高前年対比及びセッション数前年対比は、前中間連結会計期間におけるＥＣ系（「ゴルフドゥ！オンラインショップ」、「楽天市場」及び「メルカリＳｈｏｐｓ」）の合計と、当中間連結会計期間におけるＥＣ系（「ゴルフドゥ！オンラインショップ」、「楽天市場」、「メルカリＳｈｏｐｓ」及び「Ａｍａｚｏｎ」）の合計との対比です。

２．会員数は「ゴルフドゥ！オンラインショップ」の会員数であり、「ゴルフドゥ！」店舗の会員は含まれておりません。